



LITTLE DANCER

リトルダンサー



LITTLE DANCER

リトルダンサー

当作品は下記の創作同人誌シリーズ再録作品です。

LITTLE DANCER 発行：2017/3/5

LITTLE DANCER 2 発行：2017/5/5

LITTLE DANCER 3 発行：2017/6/24

発行者：あさひ(@dothermann)

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

LITTLE DANCER

リトルダンサー

ぼくはクロード
フランスの小学校に
通ってる6年生だ

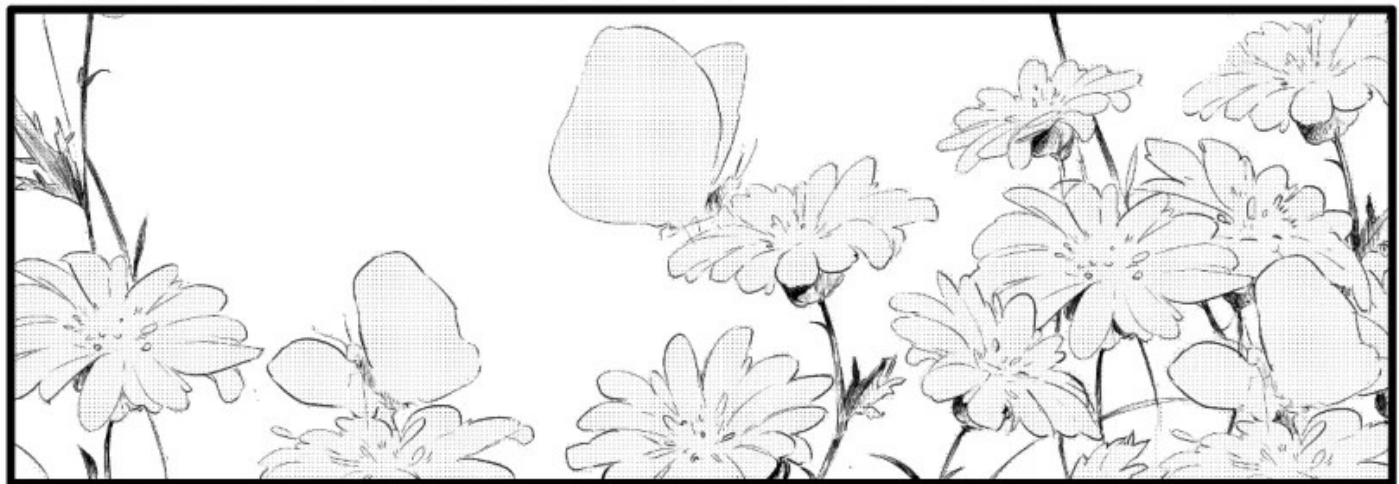
してあるから……
物の葉の部分には……
……と……アゲアゲ……

……水が……アゲアゲ……
……アゲアゲ……アゲアゲ……

植物の……アゲアゲ……
……アゲアゲ……アゲアゲ……

ぼくは最近
ある悩みを
抱えてる

恋の悩みだ

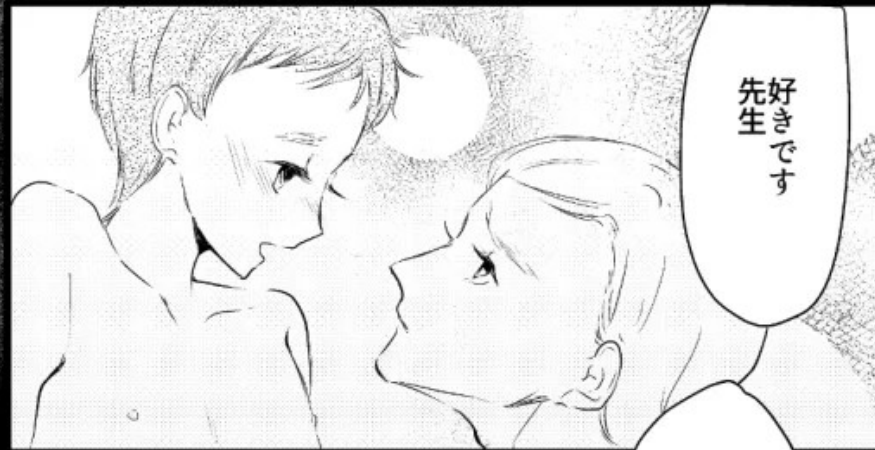




先生
ぼくを見て



せんせい



好きです
先生

クロード

クロード



ずっと前から
貴方が

好きでした

聞いてるのか
クロード!





すみません…

なにしているんですか

せんせ!



なんだ

ん?



気を付けます

たるんでます!
気を引き締めて!



ちゃんと答え
あるじゃないか

間違っていないから
言っごらん

元気出せよ
クロード



実際ね
気にすること
ないんだ

先生なんて
ぼくらのこと
なんとも
思っちゃない



あ
先生だ！



勉強がダメだって
いいじゃないか

お前の作る
チョコケーキは
うまい

それだけで
十分じゃないか



今頃
きみのことも
忘れてるさ



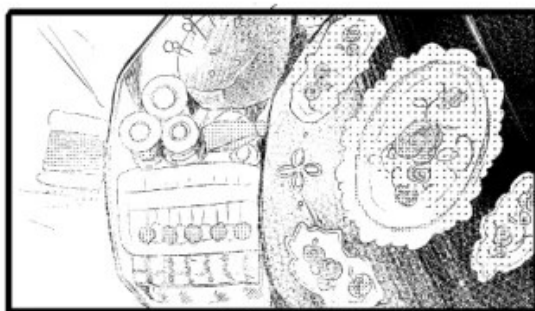
でもぼくは……



わかってるよ
わかってるよ

この気持ち
がどうしようもない
ものだって……

あー



ルシール！



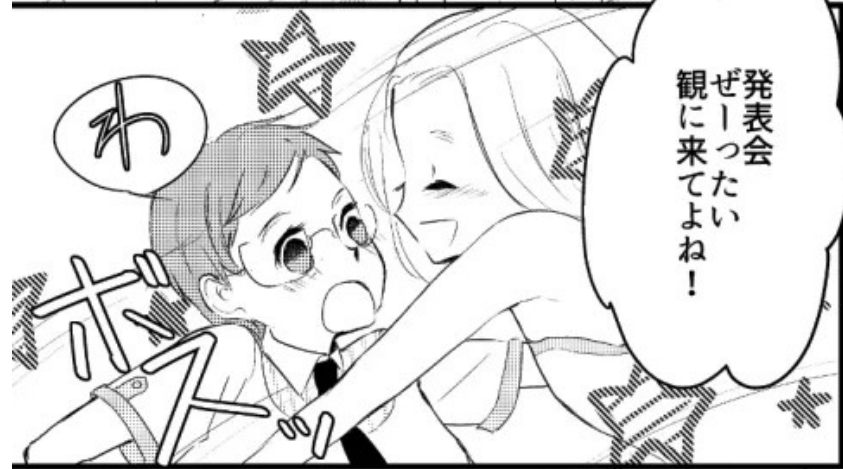
明後日の
バレエ発表会の
衣装なの
似合うかな？

似合ってる
と思うよ

よんかかんぞう
コジ



発表会
ぜひ観
たいね！
観に
来てよ
ね！



ルシール！

そういう事するの
やめてって
言ってるだろ！

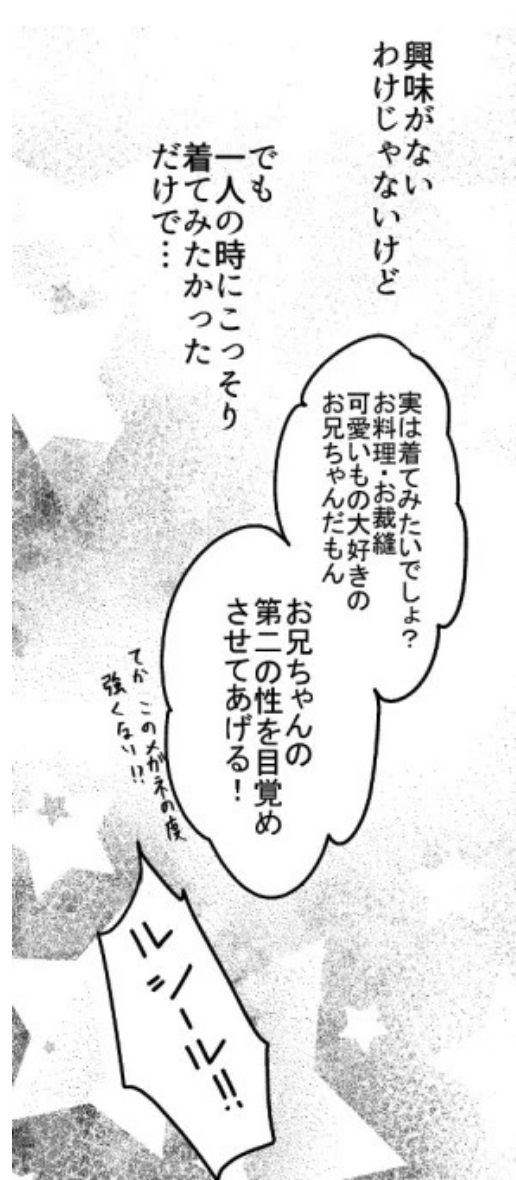
なあに？
そういう事って？

とほけないでよ





私のチュチュ
着てみない？



興味がない
わけじゃないけど

でも
一人の時にこっそり
着てみたかった
だけで！

実は着てみたいでしょ？
お料理・お裁縫
可愛いもの大好きの
お兄ちゃんだもん

お兄ちゃんの
第二の性を目覚め
させてあげる！

てかこのメガネの度
強くない！！



なに言ってるの
冗談じゃない
たがえ直して！！

おお神よ！
私に罪だと
思うのです

メガネを取った
お兄ちゃんが
こんな可愛い
なんて！



な



ぜーったい
似合うんたい
だから♪



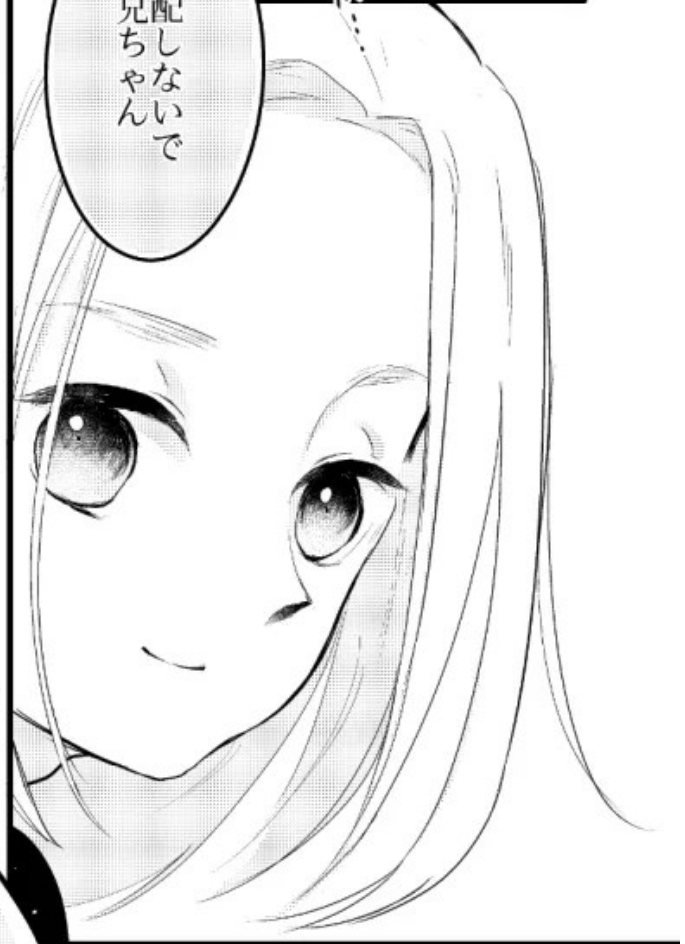
いけないよ
こんなこと...

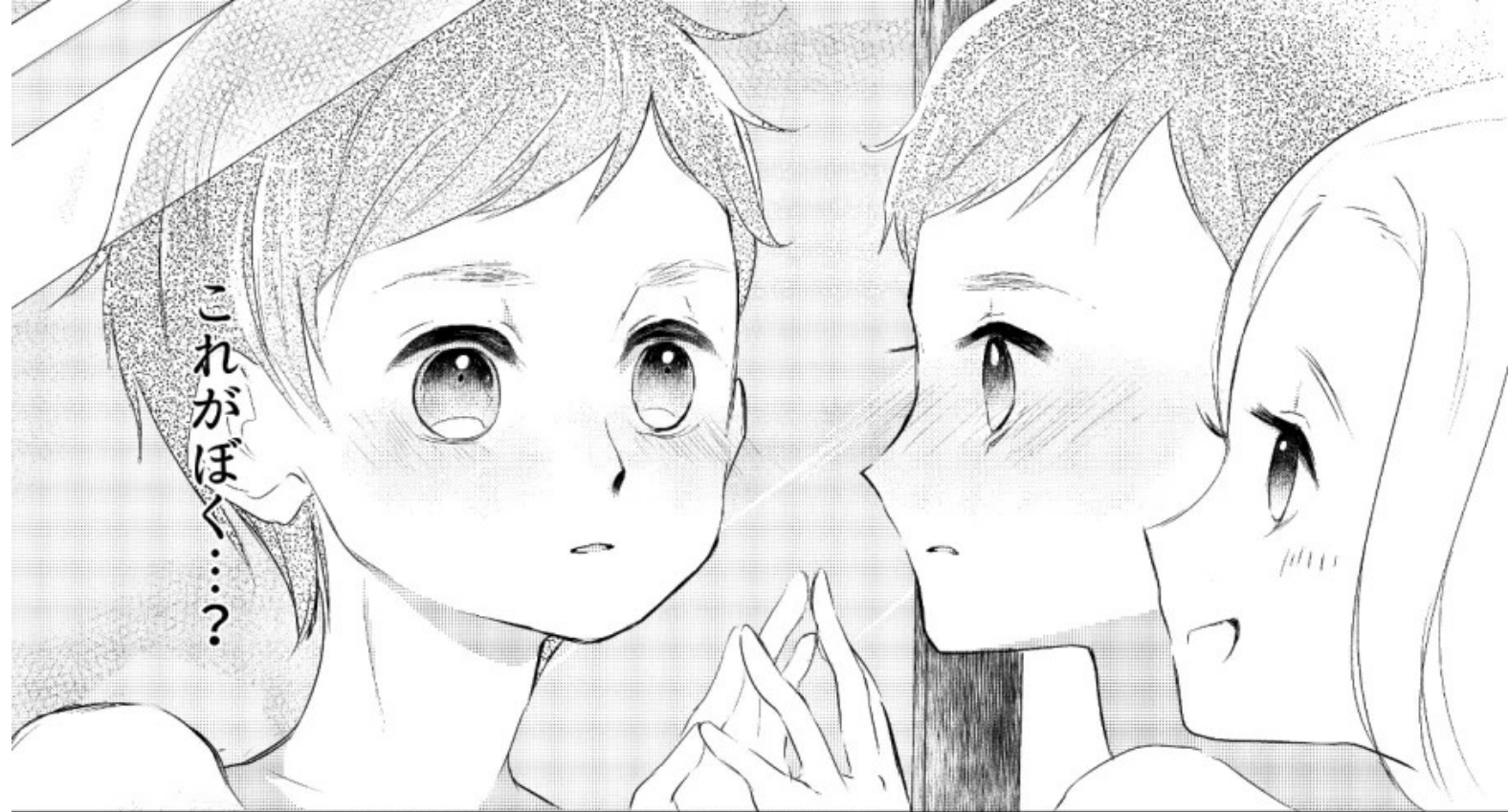
あは
あは
ぼくは
男だもの...

あは
あは
ふた
ふた
ふた
ふた

みんなに何て
言われるか...

心配しないで
お兄ちゃん





これがぼく……？



本当……？

今のぼくなら
先生を
振り向かせられる……？

あらの
こと
に

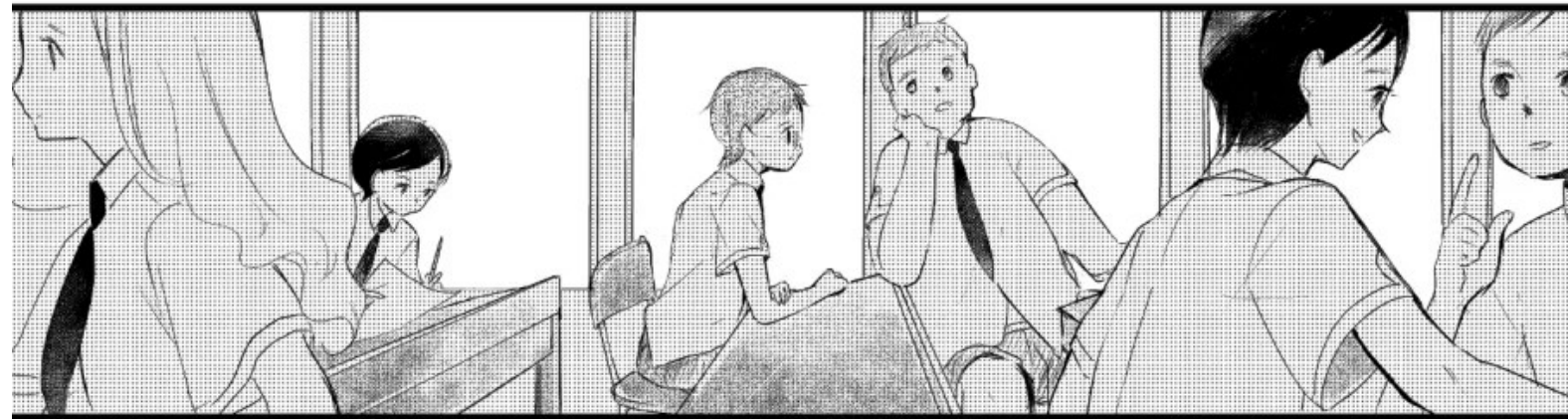


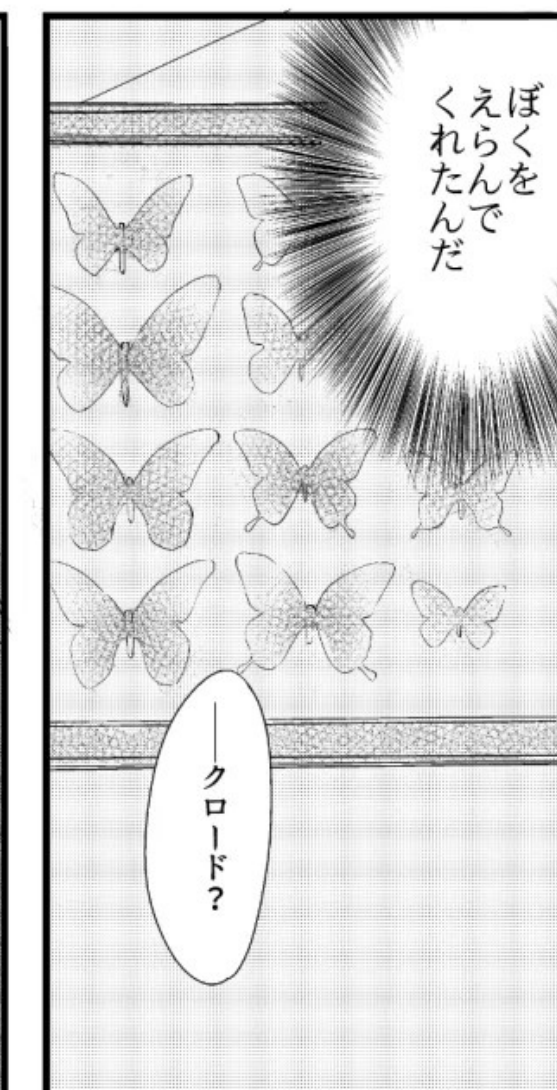
本物の女の子
みたいだ……

お兄ちゃん
がんばる気
になれば

落ちない男
なんてい
わないわ♡

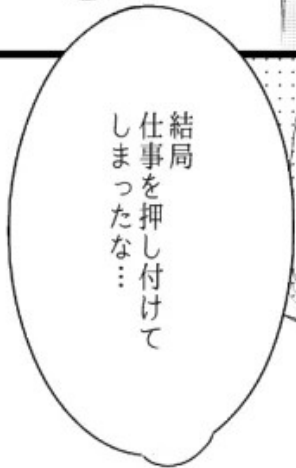
やめてよ
ルシール！



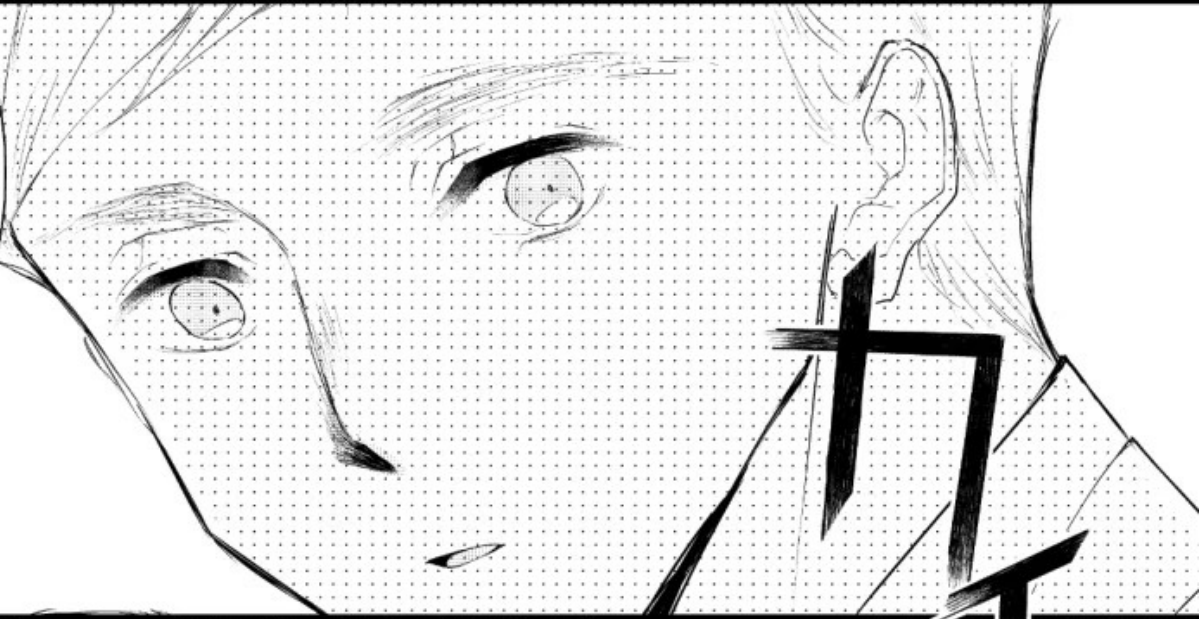




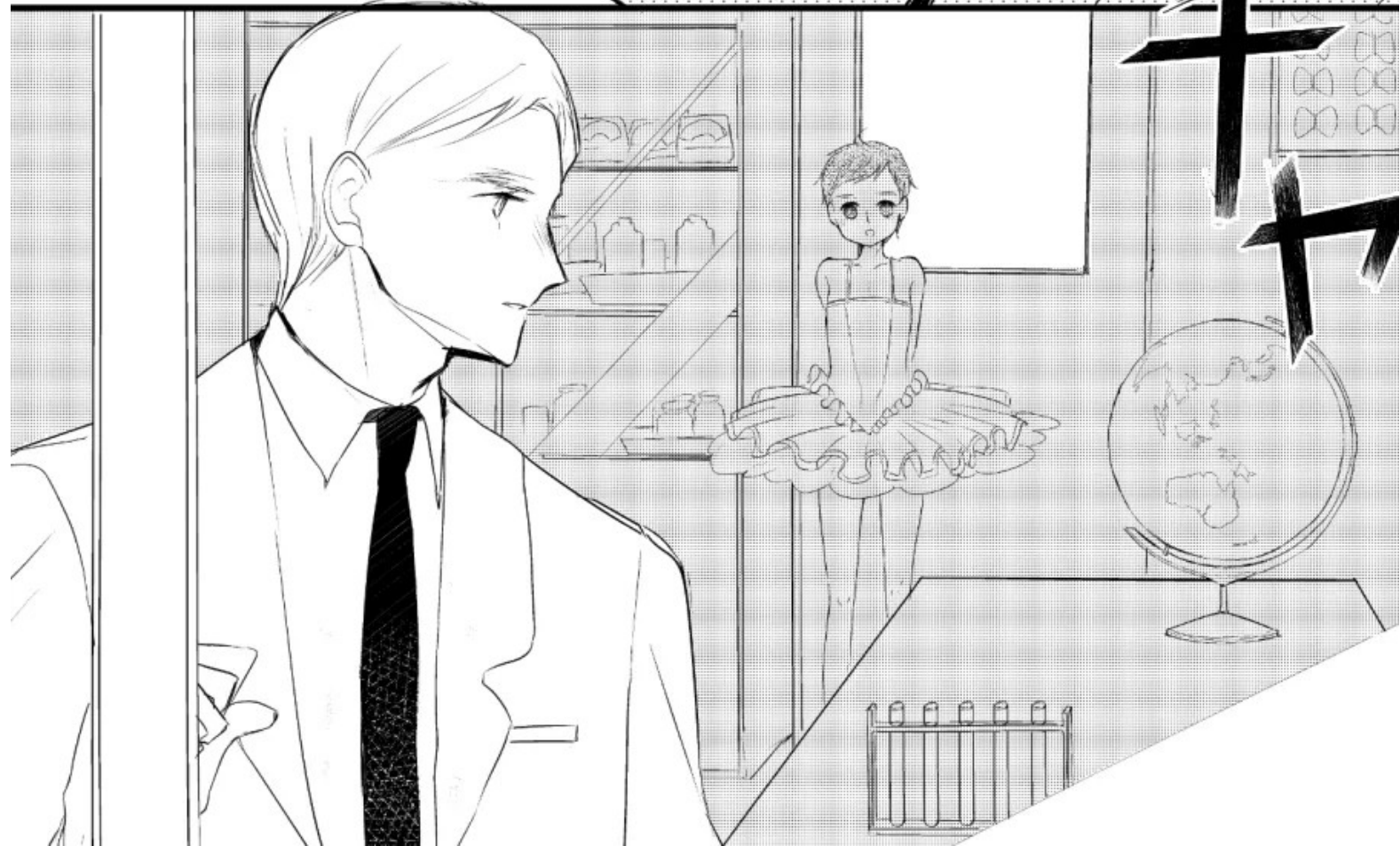
さすがにもう
帰っちゃった
よな……



結局
仕事を押し付けて
しまったな……

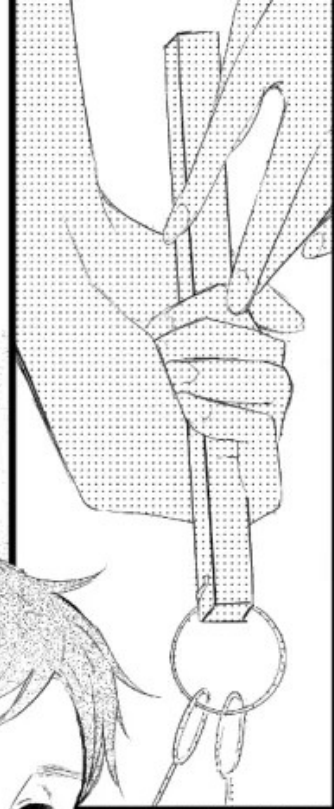


力
千
十





クロード…？



い……
いやです

全部
ぼくが
したん
です

だ
っ
て……

ぼ
く
は





やめるんだ

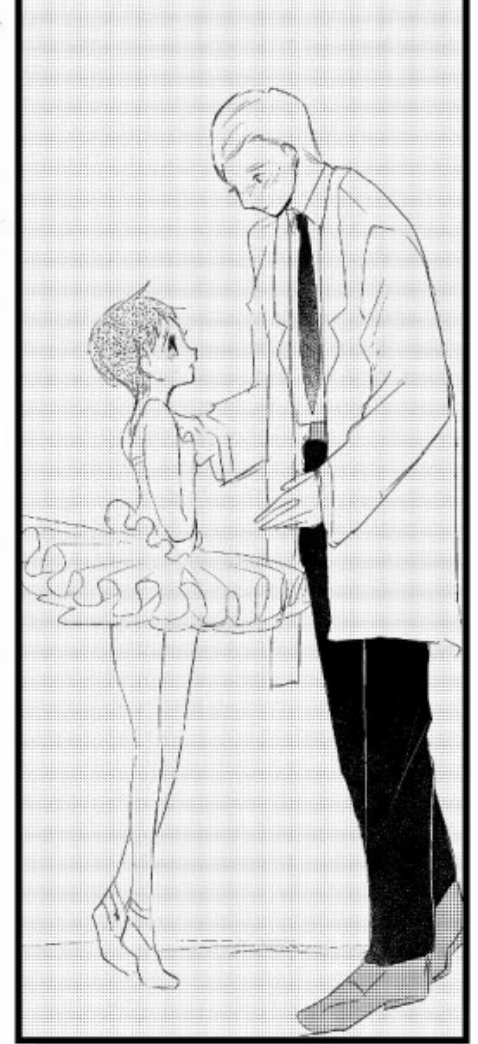
やめなさい
クロードツ!



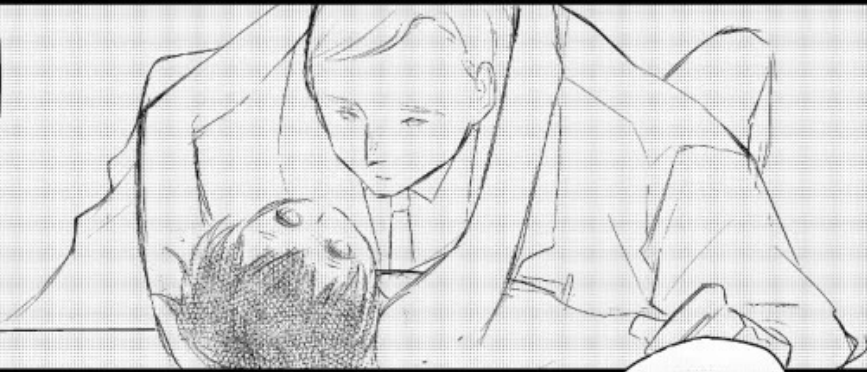
ぼくは……

先生が……っ





おねがい
先生



ほくをみて

ほろ

ほろ

ほろ

ほろ

恥ずかしいよ!

このまま
踊ってみせて
クロード

ええ!

を広げて
を張って…

本物の
バレリーナ
みたいに

やだ…
よくわかんない
先生…

大丈夫
自信を持って

今日はきみの
特別公演だ



はいえっ!?



先生も一緒に踊ろうかクロード

もちろん
君の中でね!



はあ

はあ
はあ
はあ

はあ
はあ
はあ

最初

なぜ
バレリーナに
なってきたんだい？

— どうしてだろう
チュチュを着たら
自信が持てたんです

いつものぼくとは
全く違うぼくに
なれた気がして

この姿なら
先生に愛して
もらえるよ

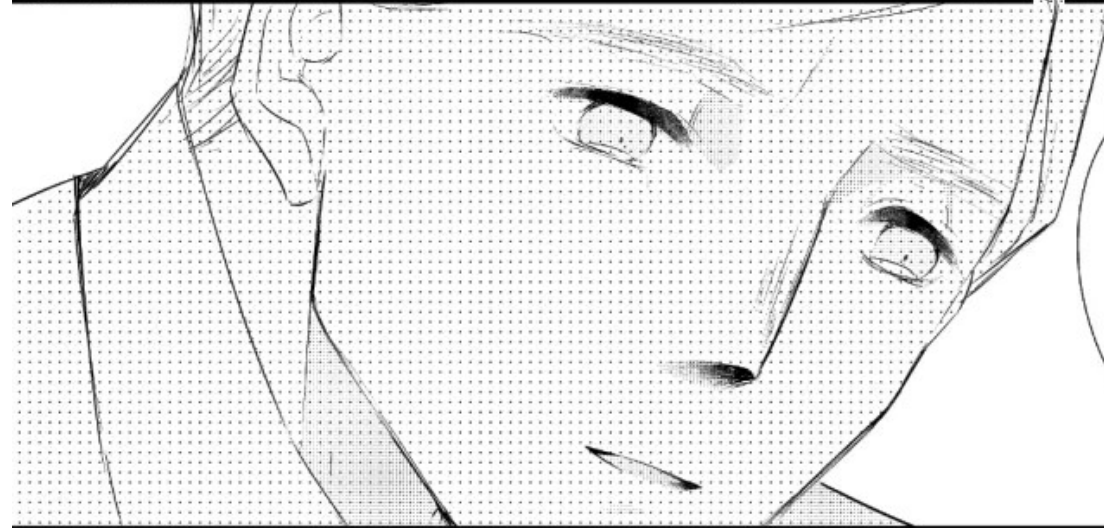


え…

伝えるつもりは
無かった



ずっと
好きだったさ



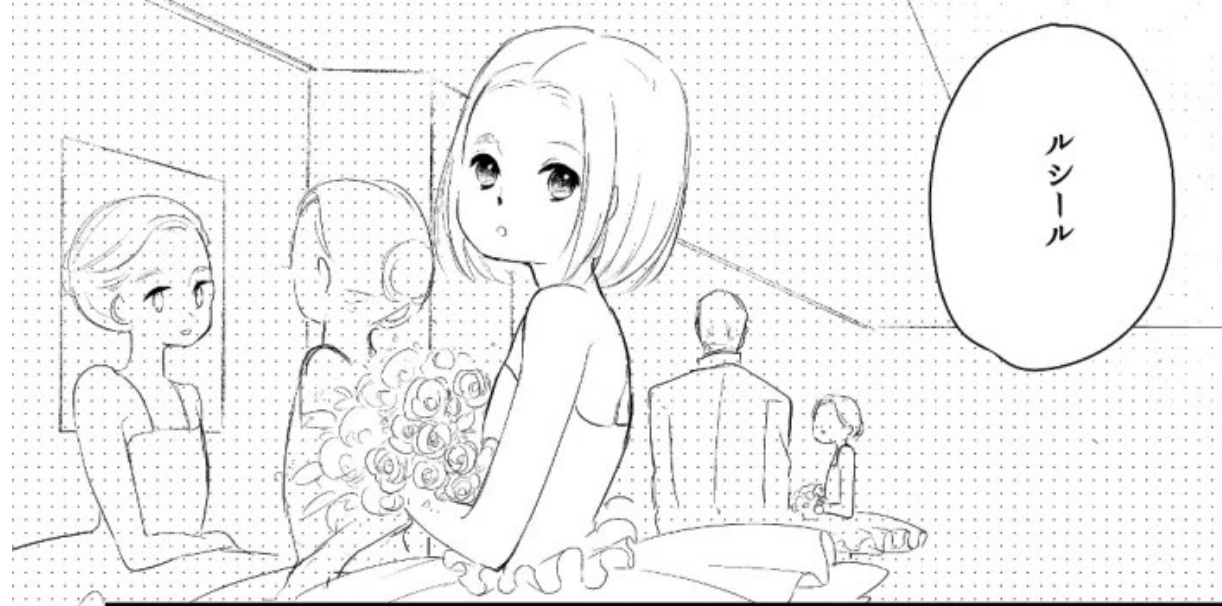
きみを
愛せる立場では
ないからね



また踊りに
来てくれるかい？



けれど
もう遅いな



ルシール

お兄ちゃん
私の勇姿
みてくれた？

もちろんだよ



えへへ
練習したばい
だから!

おんちゃん
かまちゃん
練習したばい

おんちゃんに足が
ななすこいよ
ほくには出来ない



また使う
だろうから



直ぼくが
しておくよ



あ
チュチュの裾
ほつれてるよ

えっ
うそー!

いへから...
私このままステージに
立つたの!?

ギンガク

よろしくね！
お兄ちゃんね！

ぼくは
パルシールみたい
にわけじやない

人前が出るのが
何より苦手だし
思ったことをちゃんと
伝えるのだから
へたくそだ

よう
クロード！！
今日も俺たち
遊び来いよ！！
サンデー！！
ヤッピー！！
俺たちも持参するよー

けれど

クロード



ちよつと用事があるんだ

今日の放課後いつもの場所

先生と二人だけの時

ぼくは貴方のために踊るんだ

END

DOJIN
R18
成人向け

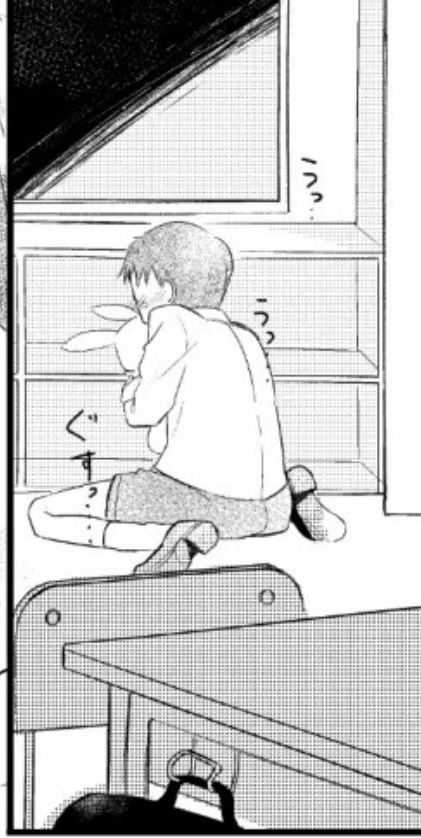
18歳未満の
購入・閲覧禁止



LITTLE DANCER

初めて先生を
好きになったのは
もうずっと前……

うっ
うっ……



どうしたの？

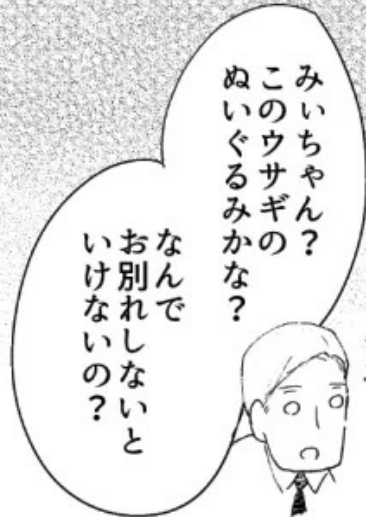


一年生はもう
帰る時間なのに
何があったの？

せんせい……

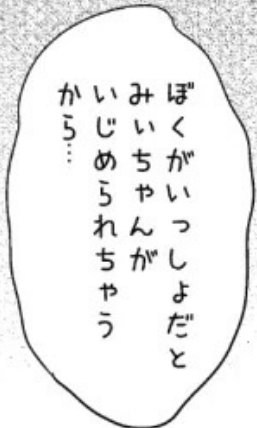


みいちゃんに
おわかれを
してるの……



みいちゃん？
このウサギの
ぬいぐるみかな？

なんで
お別れしないと
いけないの？



ぼくがいっしょだと
みいちゃんが
いじめられちゃう
から……



みいちゃんは女の子が持つものだから

ほくといっしょにはいられないの…

めろ

めろ

めろ



みいちゃんはクロードさんとずっと一緒にいいな！



そんなことはないよ！

ほんと？
みいちゃん？

本当だよ！

クロードくんのパン
大好きだよ！

ほくも
だいすきだよ！

あ

あ

あ



先生への想いは
いつしか恋になり

ぼくと先生は
両想いになった

先生……

いまでも
信じられないや

クロードの
おちんちは
生まれたての
雛鳥みたいだ

あたたかくて小さくて
力を込めたら
壊してしまいそうだよ

あ……

ん……

ふる……

あ……

ん……

ヒクッ

ふる



大丈夫だよ
先生!

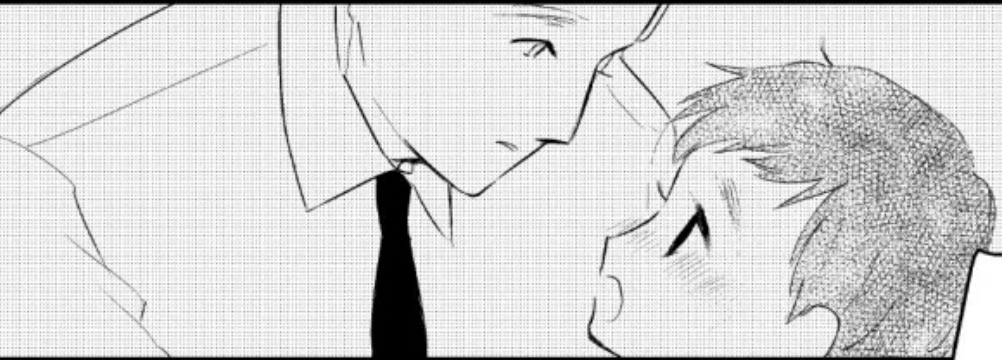
こう見えても
けっこう丈夫に
出来てるんだよ?



だから
もつと教えて
先生



お願いだよ
先生



クロー

あゝ
はらへったゝ



なあなあ
帰りにどっか
寄ってこうぜゝ

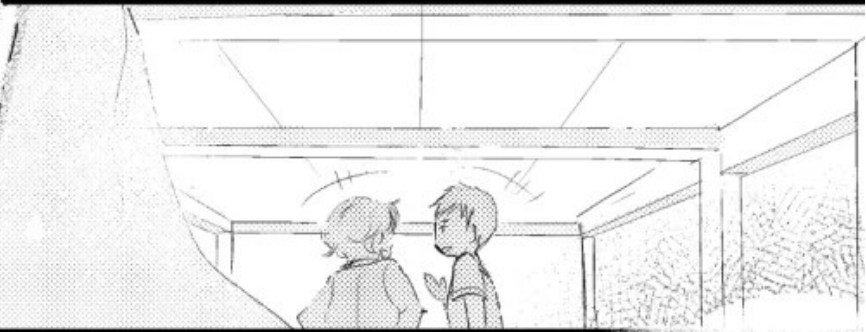




ぼくの気持ち
が溢れて



どろり



先生の大きな手で
何度もシゴかれたら



聞こえちゃい
そうだよ!



びく

びく

ん

あ

あ

あ



大丈夫かい
クロード

あっ♡

ヒッ
ヒッ

さっきぼく
すっごく大きな声
出しちゃった...



あんまり大きな声
出しちゃダメだよ

ごめんなさい

だれかに
聞かれちゃった
かな...



ちゃんと口に
手を当てて
おくんだよ

ほんとに
いいのかな

こんなに
気持ちよくなって
いいのかな

先生のおうち
ですか？

ああそうだよ
学校だと満足に
できないだろ

ドキドキするなあ

先生のおうち





こんにちは！
先生！



クロード
その恰好は…

せっかくのデート
だから
おしやれして
来ちゃいました



前回と
今日と
いい
きみには
驚かされるよ





ぼくが一番を
先生に見てほしい



クロード



ぼくそんなに
変でしょうか？

フリルのスカートも
花柄ワンピースも
全部好きなんです

女の子になると
自分を信じられる
んです



先生には
そんな僕を
見てほしい



ふむ
プリーツかね…
女の子と呼ぶには
ほど遠い……

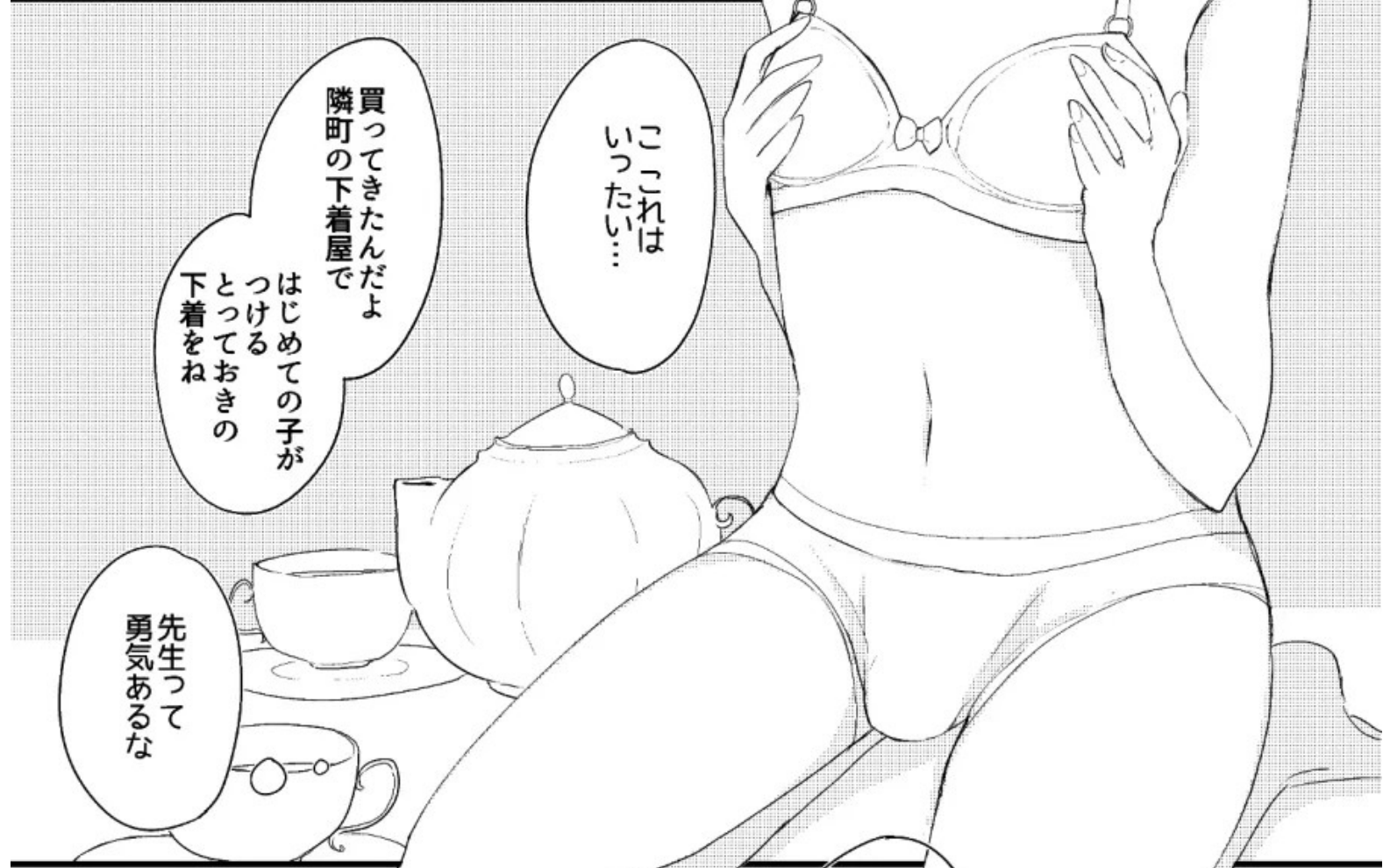
ぴらっ♡

クロード丁度きみに
プレゼントがあるんだ



喜んでくれたかな？

女の子の下着だ…



ここは
いい…

買って来たんだよ
隣の下着屋で

はじめての子が
つける
とっておきの
下着をね

先生って
勇気あるな



記念に
シャッター切ろうか？

だめです!!

おんじいさん



もっと
スマイル
頼めるかな？

クロード
こっちむいて

カニ

きっと今日は
特別なんだ

あ...

今日だけは...

今のきみは
女の子なんだから



いつもは二人して
わざと見ないふり
したり



二人の時も
いつも人目を
気にしてたけど

クロード
もっと楽しそうに
してもいいんだぞ



いつも先生が
してくれるの
すごく
気持ちいいから

ス
ッ...



クロード

ッ...



今日はほくが
してあげますね

あ...



くっ
クロード!



ほくの口の中

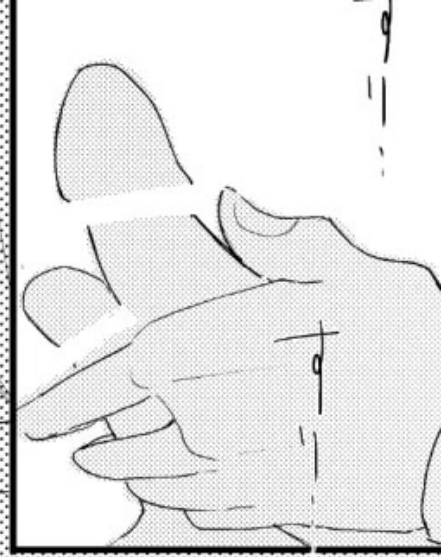
先生の
おちんちんが
少しずつ
大きくなつてく...



先生...



なんか
今日の先生
変だ…



いつもより
変なことばっか
するし

いつもの
優しい先生
じゃないよ…

あ、
だめ…

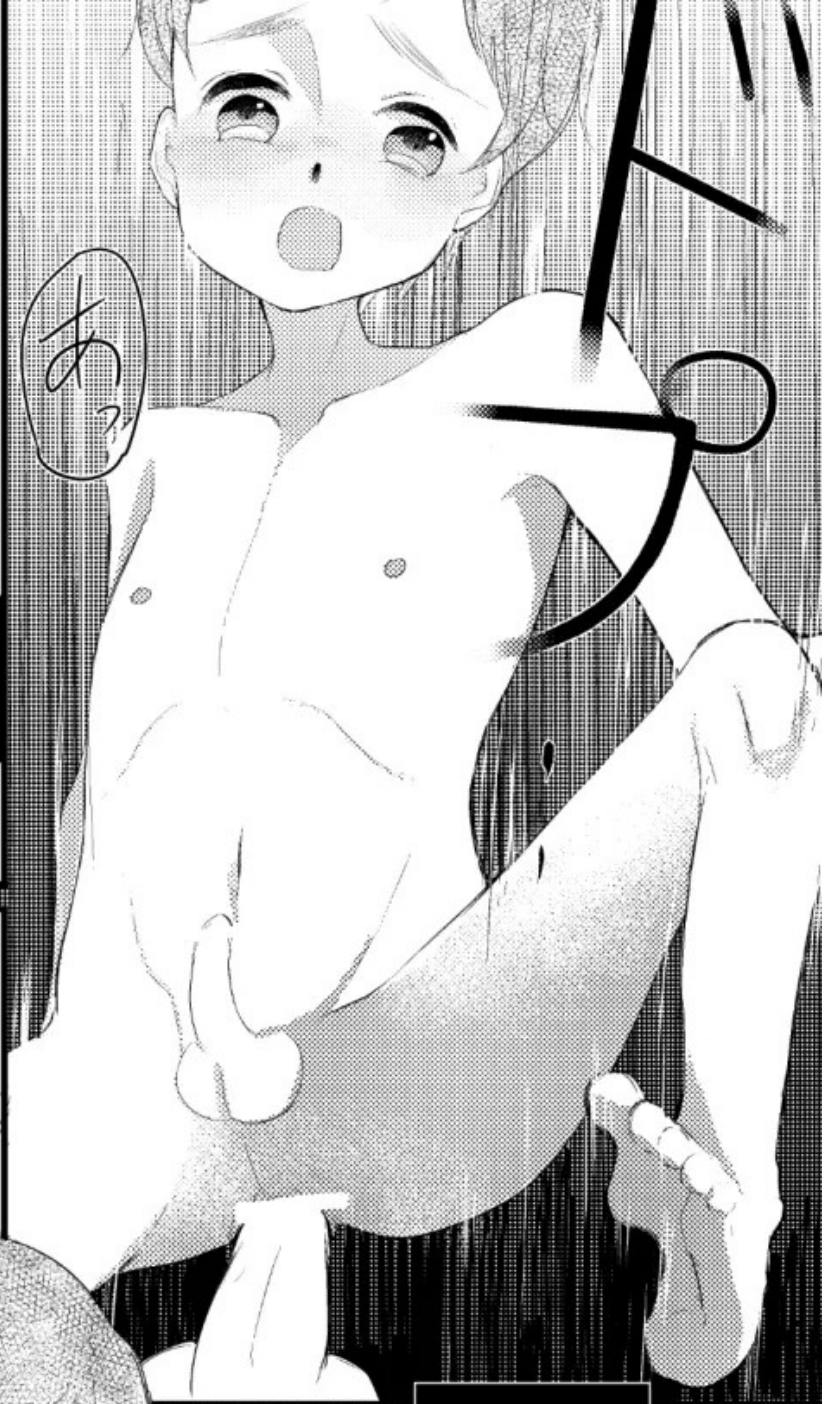
先生…

先生…

あん

どうしちゃったの？
先生……？





先生
さつきからずっと
ぼくのこと見てる

ほんとはずっと
こうしたかった
のかな

あーっ

あーっ

あーっ♡

あーっ
あーっ♡




ずっと我慢して
いたんですね
先生

まだ幼い
ぼくのために

もっと先生を
感じさせて
ください

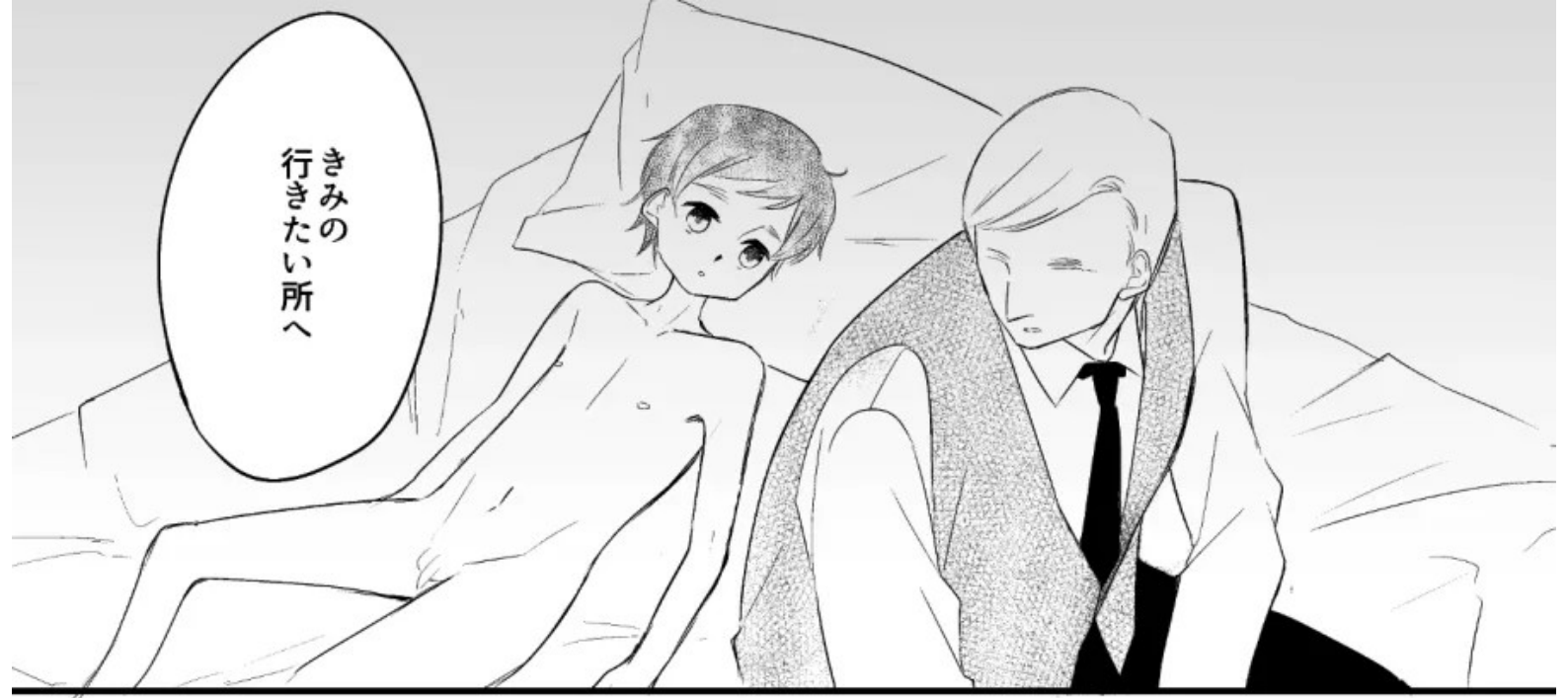
好きです
先生





ぼくを先生で
いっぱいにして


午後はどこか
出かけようか
クロード




きみの
行きたい所へ



ぼく
夢でした



先生とこうして
並んで街を歩くのが



ちよつと前まで
両想いになるのも
夢のまた夢だったのに

全部
叶っちゃった

ルシール

探したよ
一人でどっか
行っちゃうんだもん

!

ごめん

☁

もーっ

summer
sale

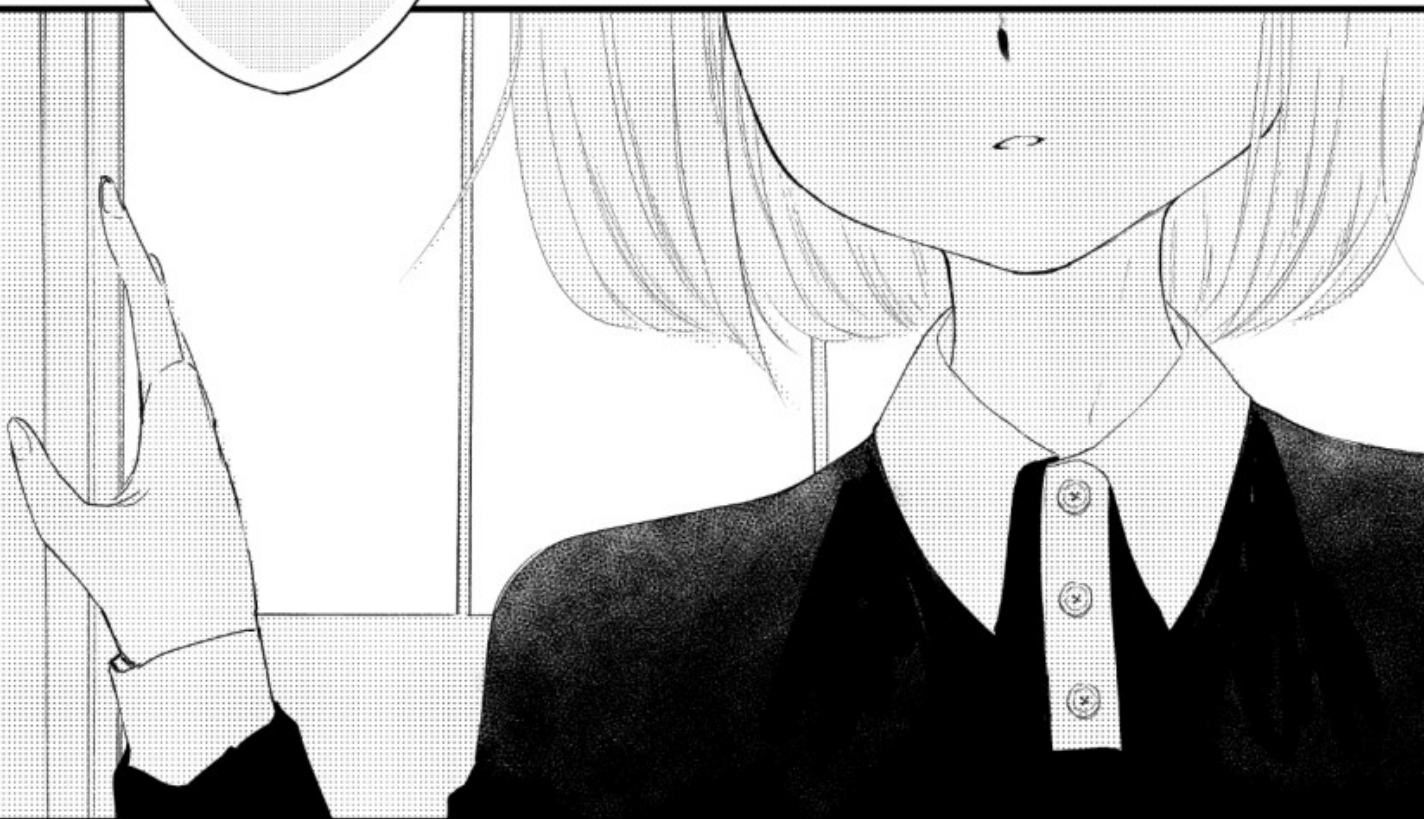




お兄ちゃん？



やあ
クロード



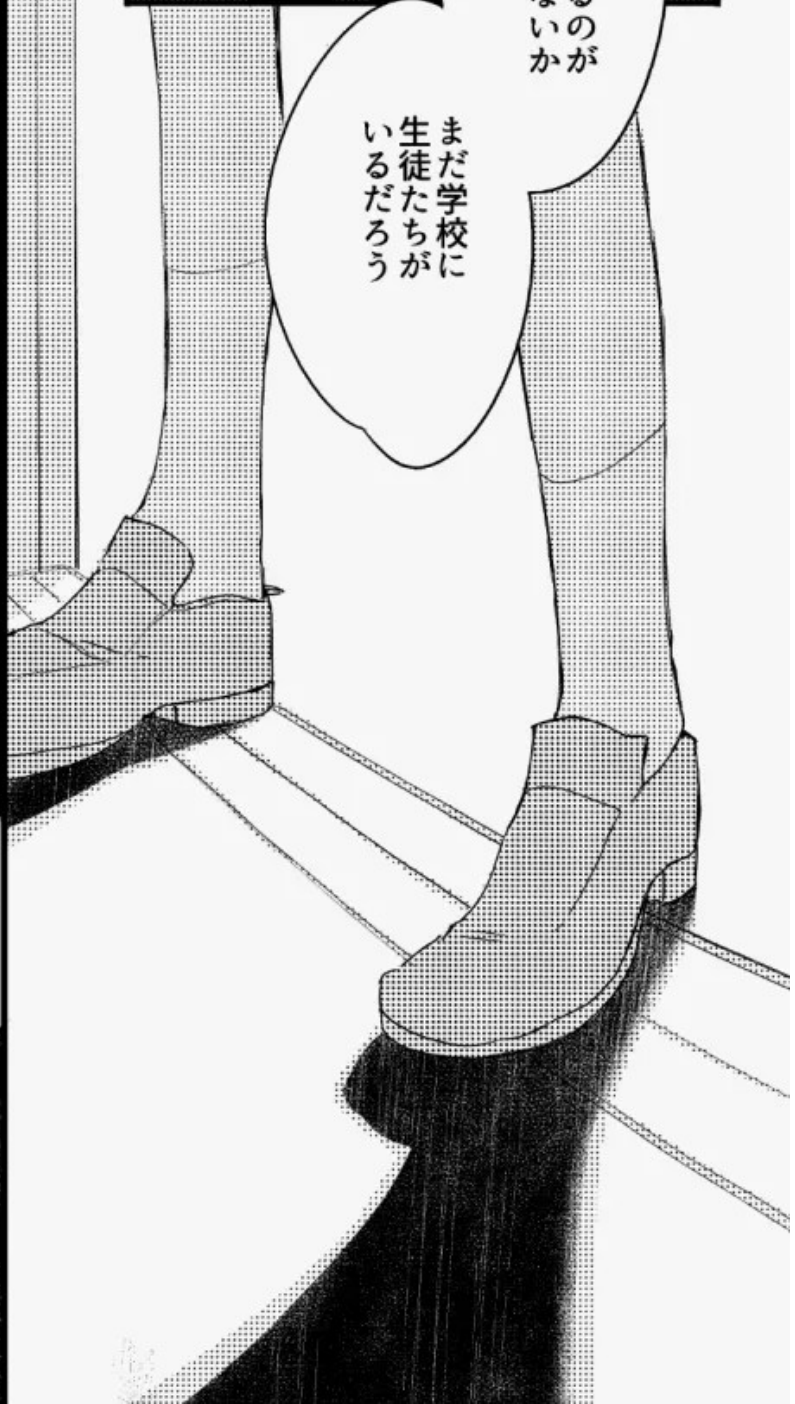
ざーんねん
でした！




珍しいね


今日は来るのが
早いじゃないか

まだ学校に
生徒たちが
いるだろう






きみは
クロードの…




妹の
ルシルよ

いつも
お兄ちゃんが
お世話になってます



お兄ちゃん
じゃなくて



今日はね
先生と取引に
来たの



お兄ちゃん
すっごい
楽しそう

こんにちはお兄ちゃん
はじめてだわ

羨ましい

おとといね
見かけちゃったの



今日は先生に
提案があるの

付き合ってるの
バラすつもりは
ないのよ

このお兄ちゃん
大好きだもん



ねえ先生

もつと可愛い
お兄ちゃんが
見たいと思わない？

DOJIN

R18

成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



LITTLE DANCER



ねえ 先生

もっと可愛いお兄ちゃんが
見てみたいと思わない？



きみは何を
考えているんだね

クロードを見世物に
するようなことは
出来ないよ

あら

わたしはね
欲望の共有を
お願いしてるの

私にできないことを
先生にしてほしいの

はあ

はあ

考えてることは
一緒じゃない
かしら？



はあ



先生！



おやおや
息を切らして
どうしたんだい

えへへ

早く先生に
会いたくて



廊下を走って
来たのかい？
危ないよクロード

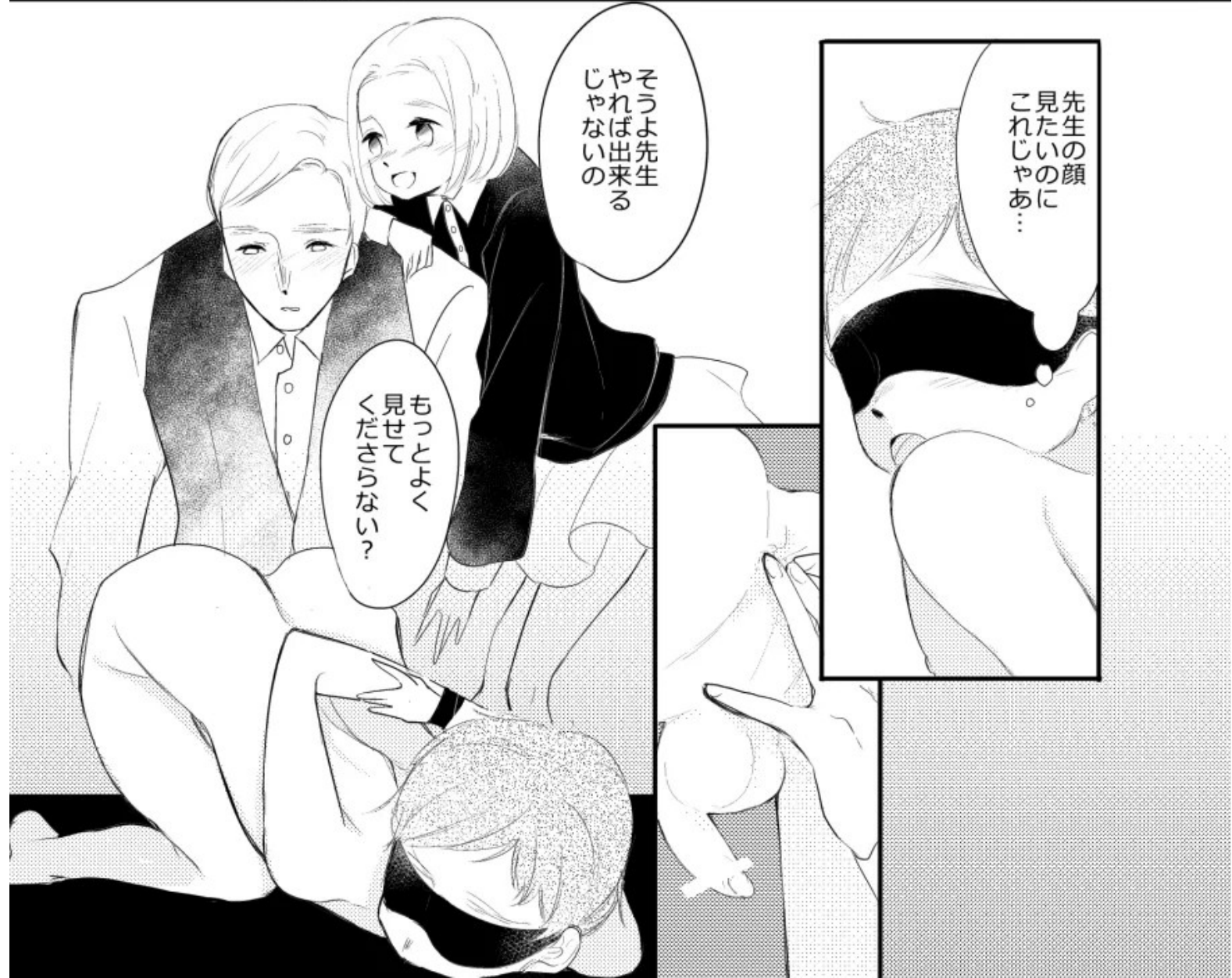
いけない子だ

きみには
お仕置きが
必要なようだね



やだ先生

なんですか
これ……



そうよ先生
じゃねえの
出来ないの

もっと早く
見せて
ください……



先生の顔
見たいのに
これじゃあ……



先生のおちんちん…
確かな質量を
もっていて

おちんちん熱こ



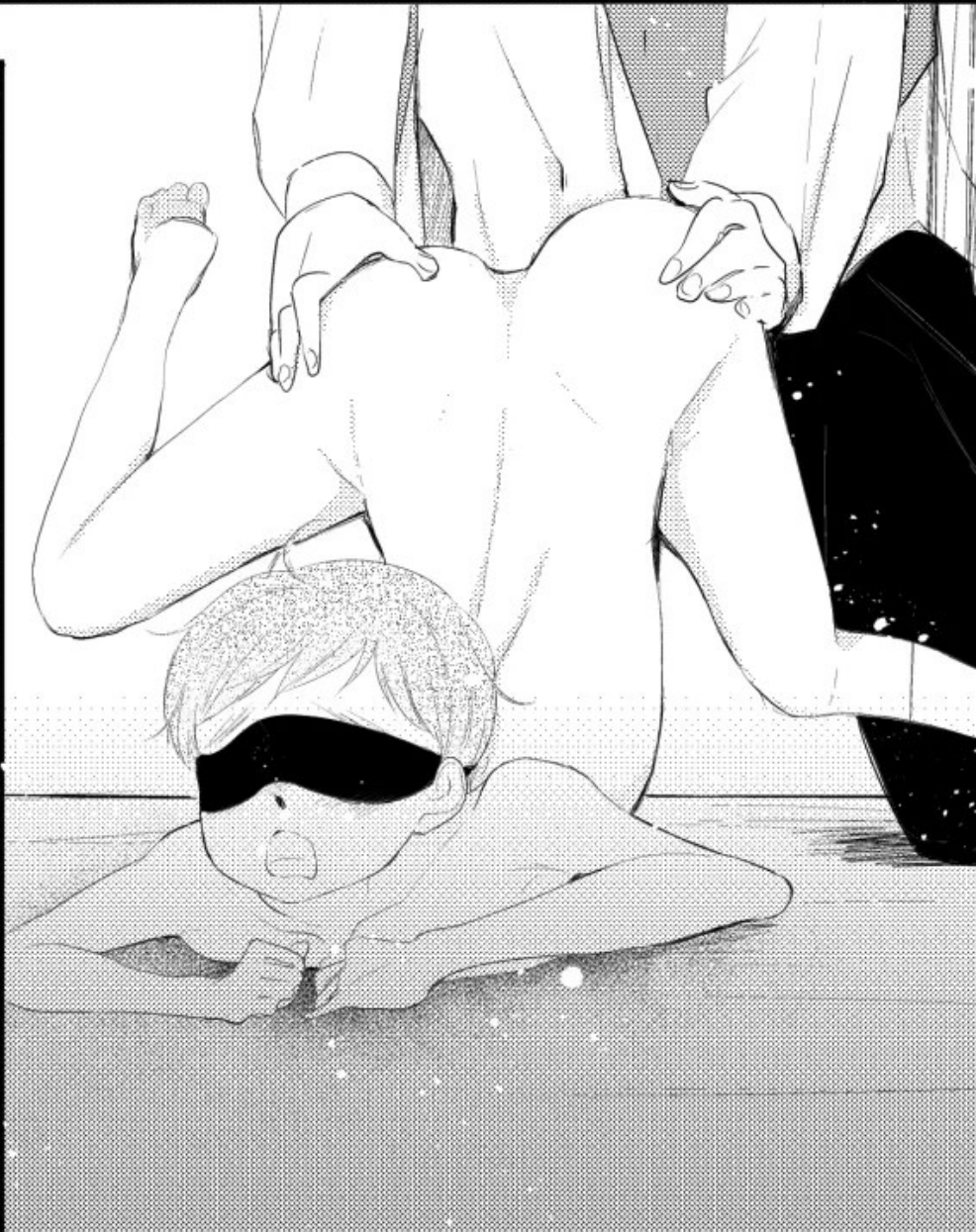
私の可愛い
おにいちゃんを



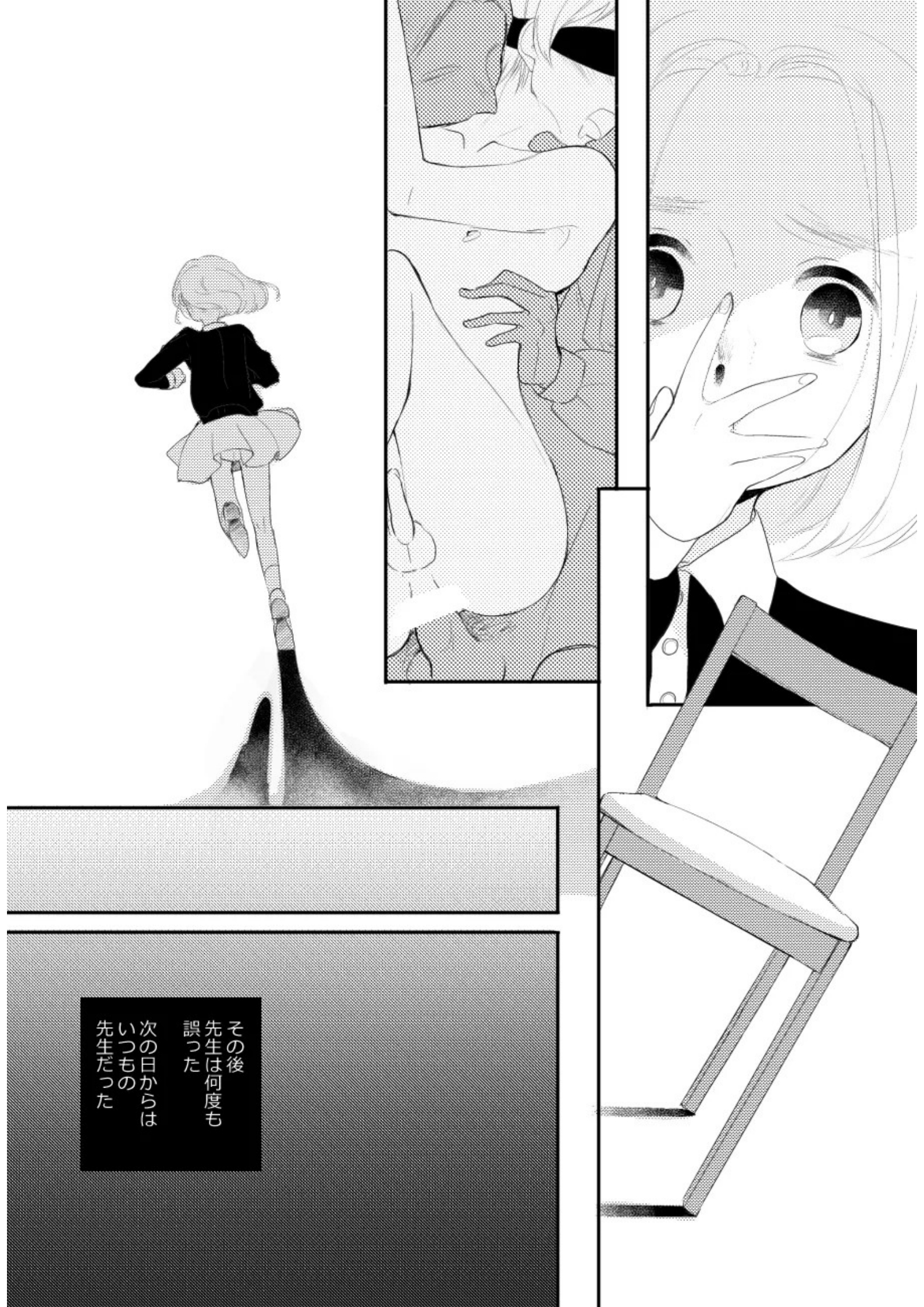
先生の熱量が
ぼくのおちんちんに

じわじわと
伝わってきて


おひげ
おんこ
おんこ



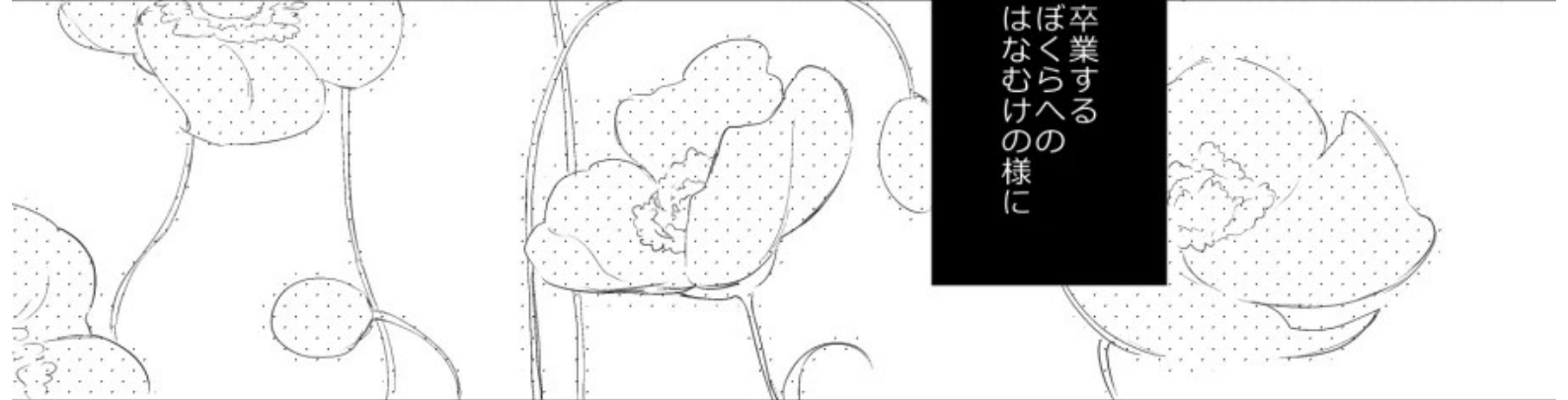




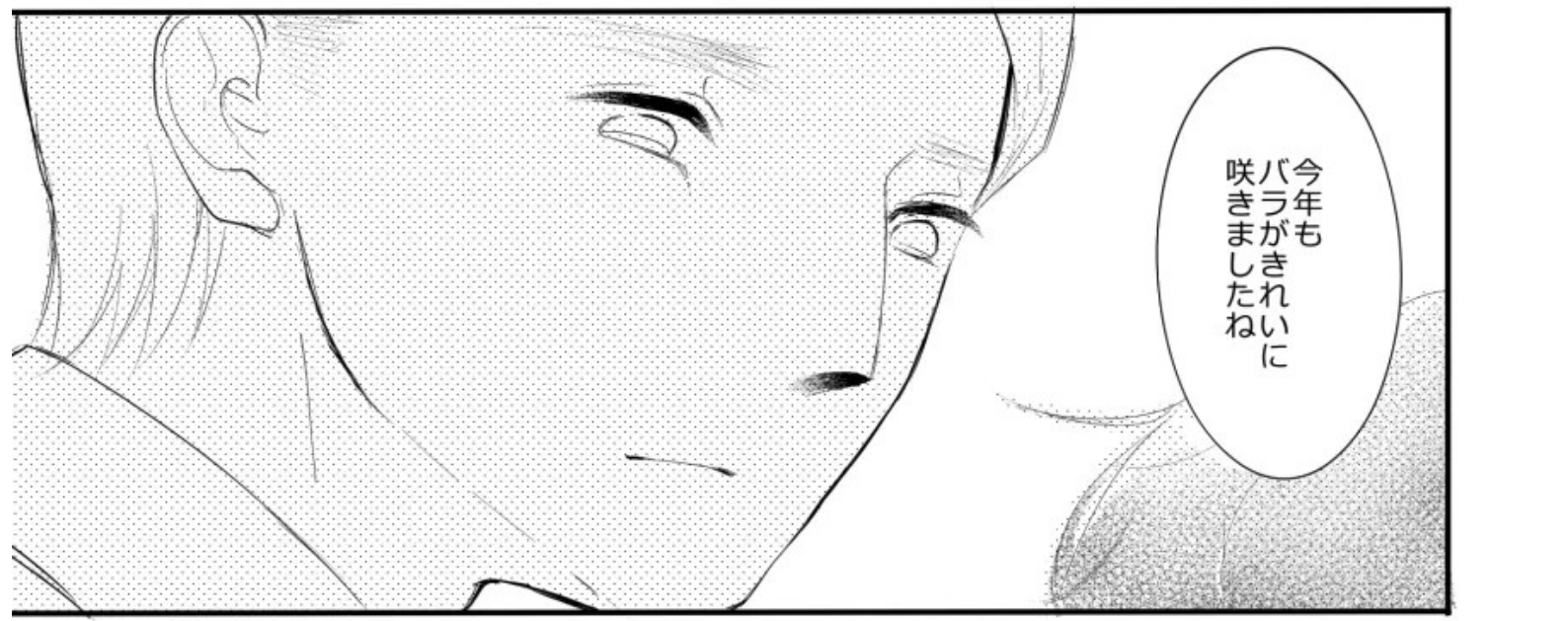
その後
先生は何度も
誤った
次の日からは
いつもの
先生だった



先生と育てた
中庭の花々は
3学期になると
一番美しい表情を
見せる



卒業する
ほくらへの
はなむけの様に



今年も
バラがきれいに
咲きましたね



そうだね
この中庭は
私たちに庭だ

きみ以外の生徒が
集まらなくて
いつも二人で
世話をした

私はその時間が
何よりも
愛おしかった

だがそれは
間違いだっただのかも
しれないな



これからは
私よりも
友人を大事になさい

その日以来

ぼくらの中庭は
みんなのものに
なつた

窓越しに見かけた先生は
みんなが別の
人みたいで

卒業を目前にした
ぼくらは

ただ漫然と
別れのソプラノを
練習していた





先生は
ぼくを忘れて
いくのかな



このまま

何も無かった
かのようにして

いつか



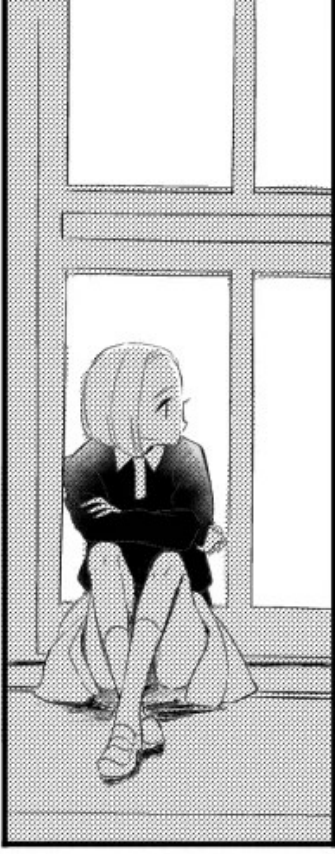
そんなの
絶対やだよ

どうして
どうしてなの
先生







あんなに
大好きだって
言ってくれたのに




ぜんぶ
無かったことに
しちゃうのかな




ぼくが
もうすぐ
卒業だから？




何度もして
ぼくに
飽きちゃったから？



ぼくが大人に
なり始めたから？



卒業しても
先生は



ぼくのことを
好きでいて
くれるのかな

先生はぼくを
好きになつて
くれるのかな

大人になって
再び会ったとき





お別れなんて
したくない

大人になんて
なりたくないよ

先生



クロード!
ちやんと食べなくちゃ
だめじゃないの!



食べたくないなら
ほくに頂戴よ

いいよ
全部あげる



ちよっとデビ
クロードの分
食べないの!

みんなまで
やめなさい!



あ先生…



ぼくの歌を
聞きに来て
くれたのかな





きっと
ぼくはずっと
おかしかったんだ

先生を好きになつたり
女の子の恰好をしたり



ぼくの心は
ずっと病気
だったんだ



どどどしたの
クローゼット!!





ちがうよ
なんでもないんだ

なんで
泣いてるのか
ぼくもわからない

泣いたって
みんなを困らせる
だけなのに



ごめんね
クロード

なんで
泣いてるの？

やっぱり給食
食べたかったんだ

ぜんぶみんなながら
食べちゃったから



クロード



大丈夫か
クロード!



クロードは先生が
保健室へ
連れていくから

みんなは
歌の練習を
続けていなさい

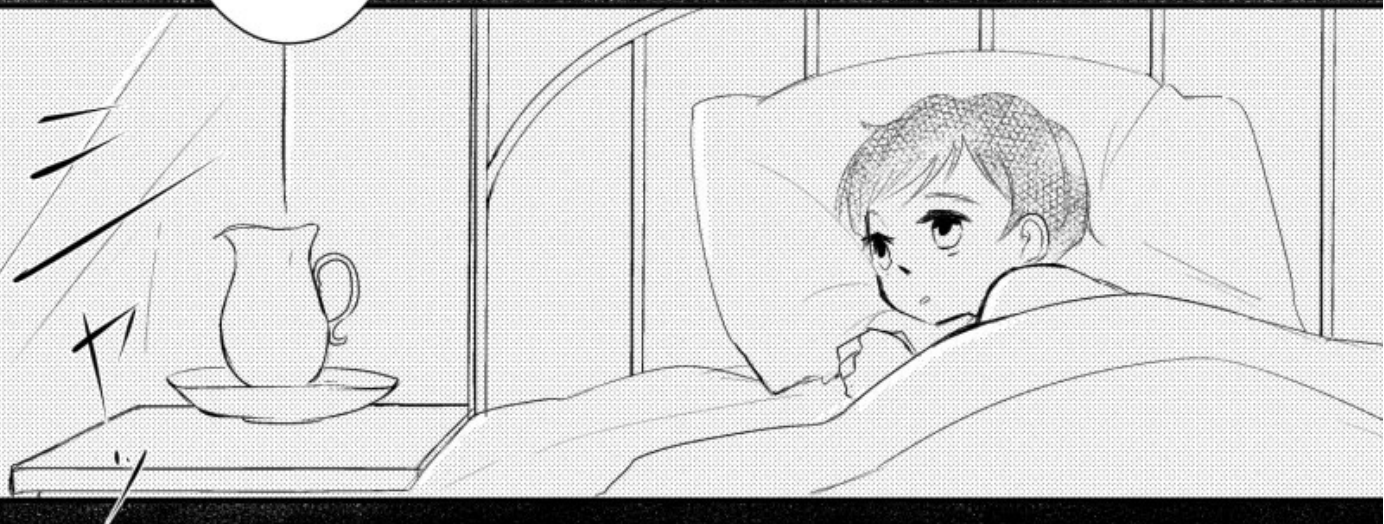


先生の
心臓の音がする

温かくて
安心する音

帰りの時間まで
眠ってなさい

時間になったら
起こしに来るから



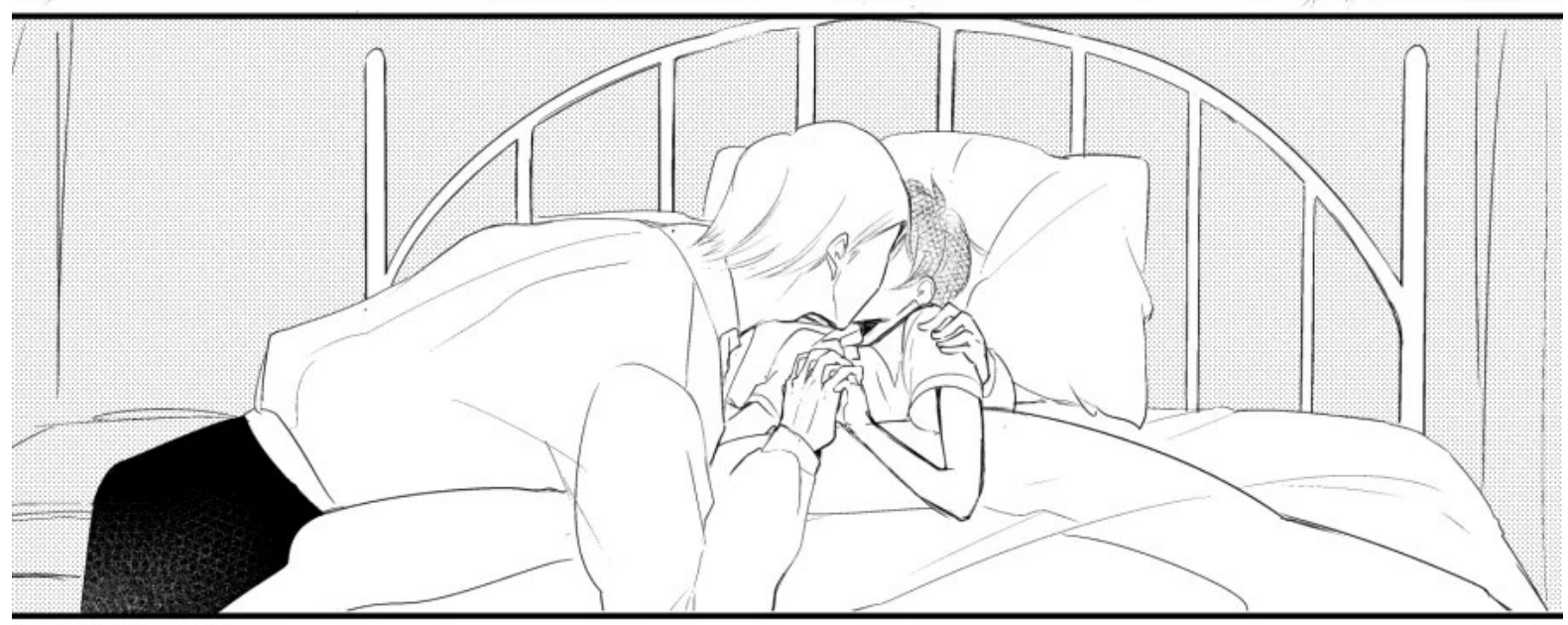


先生



待って
先生







これ以上は
だめだよ



ちがうよ
クロード



どうしてぼくを
避けるの先生?

もうすぐ卒業だから?
ぼくを好きで
なくなったから?

大人になったら
ぼくの先生で
なくなってしまうの?



どうして?
今までは
してくれていたのに



これが私だ

私はこれが怖いんだ
きみを求めてしまう
この自分が
いつかきみを
壊してしまうのでは
ないかと



みてくれ
クロード



よかった…
ぼくを嫌いになった
わけじゃないんですね



私はきみを好きでいる
資格なんて無いよ

外部に
関係が知れたら
私は犯罪者だ

そのことに保身して
きみを大切にできない
なんて

よくないよ



ぼくは
壊れたっていい

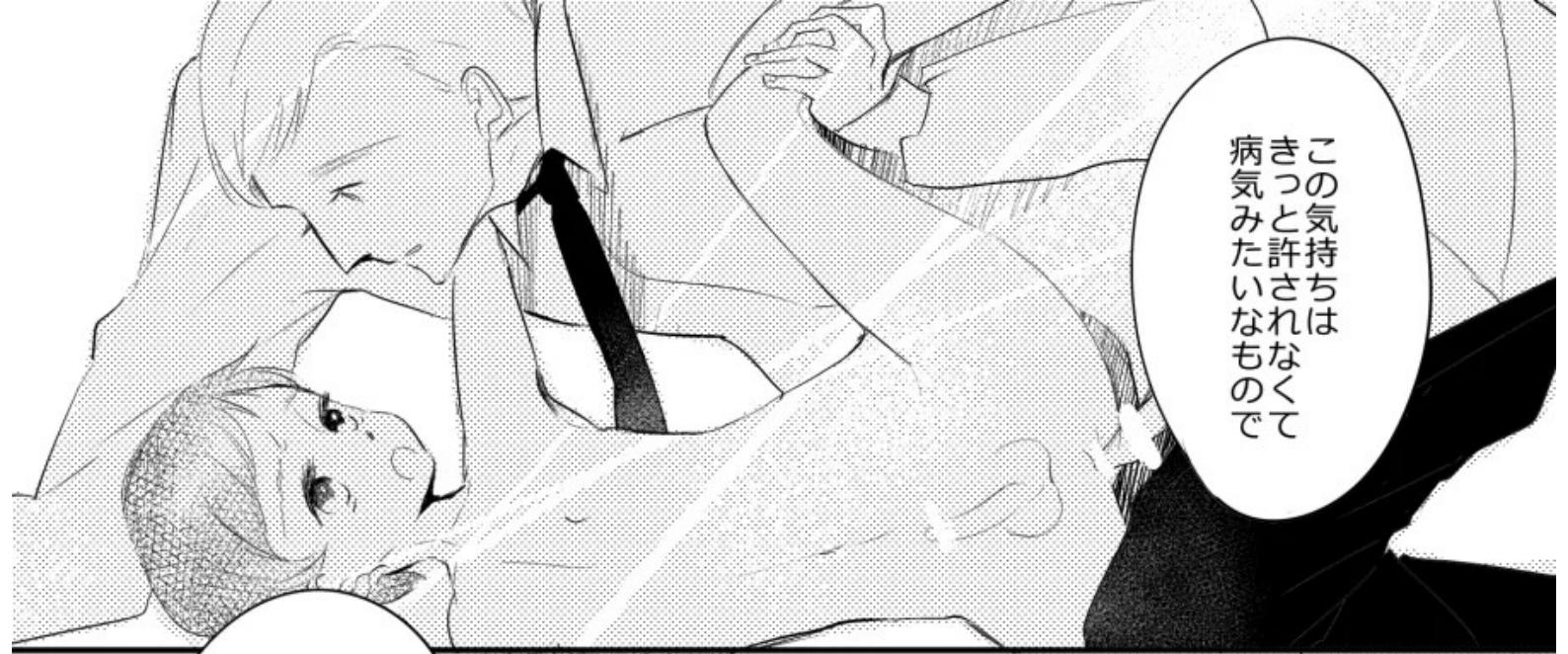
先生に
求めてもらえるなら




そんなの関係ないよ




ずっと
ずっと
不安なんだ



この気持ちは
きつと許されなくて
病みみたいなもので




そのことを考えると
夜も眠れないくらい
悲しいけど



でも今は
そんなぼくが
許される気がして
すごく安心するんだ




クロード



きみは病氣
じゃないよ

きみの心は
治さなきゃいけない
ものじゃない

きみ自身の
気持ちなんだ



きみが
一番大切にして
あげなくちゃ



きみが
一番大切にして
あげなくちゃ



大好きだよ
クロード

そのときだ



そのとき
先生が僕の心に
住み始めたんだ

きみが大きくなるのを
ずっと見ていたよ

この学校に
入学した時から
ずっと

これからだって…



先生はいつも
見守ってくれている



ぼくの心のなかで
ずっと



けれど
ぼくは大丈夫なんだ

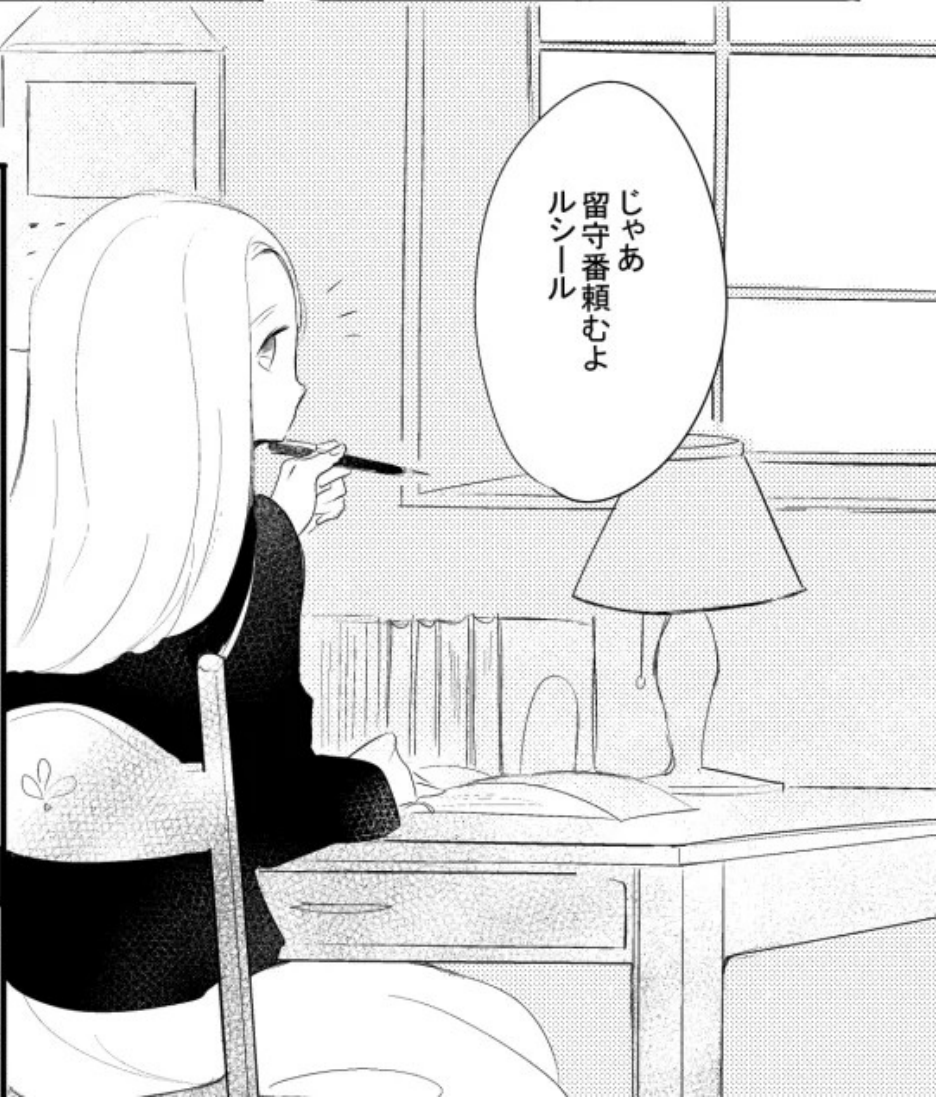


それから
卒業して以来


先生に会ったことは
一度もなかった




あ
お兄ちゃん！



じゃあ
留守番頼むよ
ルシール



ぼくは休日になると
女装して街を歩く



この街のどこかに
先生がいるような
気がして



また私の服
借りたでしょーっ！





いつだって
心の中で先生が
抱きしめてくれる

ああの！



すみません

ちよっと
いいですか？



だからぼくは



ほくは
どこにだって
いけるんだ



先生！



ク
ク
ク
ロード！

先生
おお久しぶりです

ずっとあなたを
探していたんです